

I リハビリテーション・プログラム

脳卒中患者のリハビリテーションは発作直後からはじまり、家庭・職場に復帰するまで、いや実は更にそのあとまで、すなわちその患者（障害者）が家庭・社会の中で新しい役割を獲得し、その役割を生きる喜びをもって遂行するようになるまで続く。若年の片まひ者にとっても、老年の片まひ者にとってはより一層それは困難な道である。そのためには医学的リハビリテーション・プログラムの充実とともに、職業的・社会的なリハビリテーション・プログラムの充実が必要であるが、同時にそれは、患者の主体性に訴えかけ、それを呼びさすものでもなければならない。上田論文は「障害の受容」の概念を中心に、このようなものとしてのリハビリテーション・プログラムについて述べている。

脳卒中患者のためのリハビリテーション・プログラム.....上 田 敏・398
いくつかの基本的問題について

